

第6回 平成26年12月16日（金）3限 11:10～12:15

演題：「iPS細胞研究の現状について」

講師：京都大学 iPS 細胞研究所 主任研究員 吉田善紀 氏

ヒトやマウスの胚から樹立された ES 細胞は、m分化多能性を維持しつつ増殖することが可能で、体細胞にリプログラミング因（c-Myc, Oct3/4, SOX2, Klf4）を導入することにより、ES 細胞のような分化多能性を持つ iPS 細胞を誘導することが可能であることが明らかになりました。iPS 細胞は現在、再生医療などへの応用が期待されており、iPS 細胞はさまざまな種類の体細胞から樹立することが可能で、また樹立する方法も多様な方法が報告されているとのことでした。

今、医療分野で大変注目されている研究ですので、大変興味深く聞くことができた内容でした。

